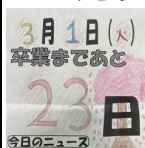




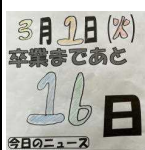
もやい

…船をつなぎとめること
共同で事をなすこと学校ホームページ
QRコード→

3月になります



左は、6年1組、2組にそれぞれ掲示してある卒業式までのカウントダウンカレンダーです。卒業式が行われる3月24日（木）まで残すところ23日、登校するのは16日となりました。1～5年生は修了式までそれぞれ+1日です。これまで同じ教室で過ごしてきたクラスの仲間と、同じ空間を共有できるのもあと少しです。1日1日を大切に、そして元気に過ごしてほしいと思います。



さて北京で行われていた2022冬季オリンピックは2月20日に閉幕しましたが、日本人選手の活躍を見てその努力と挑戦に敬意を払うとともに、思わぬアクシデントによる不運もあり、いろいろと考えさせられました。今月4日からは北京パラリンピックがスタートします。3年生はパラスポーツについて調べ学習をしたり、4年生はパラスポーツ講座を体験したりしたので、特に関心をもって見てくれることと思います。選手のがんばりを応援したいと思います。

「小学校高学年における一部教科担任制」とは

1月の終わりに「小学校高学年における一部教科担任オンラインフォーラム」に教務主任の寺坂教諭とともに参加しました。令和4年度をめぐり、この制度の導入が本格化する予定です。わかりやすく言えば、小学校5・6年生において、専科教員が行う専科授業（本年度で言えば理科・社会）と学級担任それぞれが一部教科（例えば図工と家庭）を担当教科として受け持ち、同学年の1組にも2組にも教える交換授業を組み合わせて進めていくイメージです。（学校規模によりいろいろなパターンが現在モデル校で試行されています。）この制度の導入により、以下のようなことが期待されています。

- ① 授業の質の向上（同じ授業を1組、2組で2回実施することで授業内容の改善が図られる）
- ② 中学校への円滑な接続（中学校は教科担任制）
- ③ 複数教師による多面的な児童理解（1組担任、2組担任、専科教員で学年全部の児童を見られる）
- ④ 教育活動の充実（担任の持ちコマ数が減ることで、担当する教科における教材準備が充実する）

令和4年度に向けて、これらのよさを生かすことができるように、本校でも導入を検討していきたいと考えています。

おすすめの一冊！

『君たちはどう生きるか』 吉野 源三郎

本作には小説の新装版もありますが、自分はさらに読みやすい漫画版を手に取りました。1937年に出版されて以来、多くの人に読み継がれてきて、著名人が絶賛し「池上彰氏が心から感動した一冊」ということで、もうお読みになった方も多いいと思います。



主人公コペルくん宛てたおじさんの一冊のノートの中には、コペルくんが日常の経験をとおして考えたことに対する、おじさんの「一人の真っ当な人間」として育ててほしいという思いがこもった答えが綴られています。

「ものの見方」や「社会の構造・関係性」といったテーマが語られていて、高学年の子どもたちにも、ぜひ読んでほしい一冊です。

おしらせ

○ 3月24日(木)の卒業式は、感染症予防対策をしながら卒業生と保護者、在校生（5年生）の参加で時間を短縮して行う予定です。本年度も卒業証書の卒業生の氏名等は、平成29年度～令和元年度まで本校校長であった宮園泰宣先生が書いてくださっています。「自分が関わった子どもたちのために」と快く引き受けてくださっています。本当にありがたいことです。

○ 卒業式予行前日から卒業式当日の3月14日～24日の期間、卒業式式場の設営の関係から夕方夜間の体育館使用はできなくなります。スポーツ少年団、社会体育団体の皆様にはご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。

○ 年間をとおして、左の「おすすめの一冊」のコーナーで保護者の方にも読んでいただきたい本を紹介させてもらいました。少しでも目をとおしていただけたなら幸いです。電子メディアにしばし距離を置いて、親子が静かに読書をする「家読(うちどく)」の時間をご家庭でもぜひ！！